

# まちの話題

## 軟式野球協会選手権大会

10月11日から「第7回目山都町軟式野球協会旗選手権大会」が矢部中央グラウンド、清和グラウンドで開催され、「With」が優勝しました。

大会MVP(最優秀選手賞)は、Withの西山隆文選手が獲得しました。



(成績) With 馬見原球友クラブ  
優勝 BJ 熱球ヤマト  
準優勝 3位  
最優秀選手賞 西山隆文選手 (With)

## 馬見原小がソバ収穫

毎年恒例となっている、馬見原小学校と馬見原東部老人クラブとのソバ栽培。その収穫作業が11月8日に行われました。一里木の15aの畑に実ったソバを馬見原小3年生5人と一緒に老人クラブの方々が一株ずつ鎌で刈り取り、竹の干し竿に立てかける昔ながらの方法で乾燥させます。「大きくなってうれしかった」と笑顔の児童たち。11月末には、めぐり棒などの昔ながらの道具を使った脱穀作業が行われる予定です。



## 馬見原小児童が脱穀作業

10月20日、馬見原小の5・6年生がもち米の脱穀作業を体験しました。今年も馬見原東部老人クラブの方々とともに、田植え・稲刈りを行ってきた児童たち。その作業の最後となるのが脱穀作業です。児童たちは、老人クラブの方に教わりながら、そしてみんなで協力しながら、架け干しされた稲を機械にかけ、脱穀作業を行いました。



## 御岳小で稲刈り

10月25日、御岳小学校では全児童と職員、さらに保護者も参加して稲刈りがおこなわれ、黄金の穂を付けたもち米を収穫しました。御岳自治振興区との世代間交流事業の一つとして行われているこの稲作体験は、10年以上の歴史があるそうで、児童と地域の方々の重要な交流の場となっています。「毎年やっているから」と慣れた手つきで次々と稲を刈る児童。12月に餅つきを行うって、各家庭でその味を堪能する予定です。



## 清和中でハロウィン

10月28日、清和中学校で「国際理解教育」が行われ、生徒が町ALITの先生とともにハロウィンのジャックオーランタンを作りました。授業ではまず、初めて清和中学校へ来校されたインド出身のアパルナ先生が自国の紹介。続いてフランス出身のレミー先生が自国の紹介とハロウィンについて英語と日本語を交えながら楽しく教えます。ランタンの制作には学校の畑に育てたジャックポカボチャ2個を使用。初めてジャックオーランタンを作る生徒が多く苦戦していましたが、外国の文化に楽しんで触れていました。出来上がったランタンは清和地区で展示されました。



## 九州脊梁山地文化圏シンポジウム

10月21日、千寿苑で九州ハイランド観光ガイド・インストラクター協会主催の九州脊梁山地文化圏第2回シンポジウムが開催されました。基調講演として熊本自然環境研究会事務局 永田瑞穂さんから「九州脊梁山地の貴重な自然環境」について、熊本県新幹線元年委員会委員長 石原靖也さんからは「九州の奥座敷 脊梁山地」について、この地域の魅力をそれぞれ語っていただきました。また「九州脊梁の魅力にせまる」と題し、パネルディスカッションが行われ、地域独自の魅力について熱い討論が交わされ、改めて九州脊梁山地の魅力を再確認できるシンポジウムになりました。



## まちなかコンサート

11月4日、山都町立図書館ホールで「まちなかコンサート」が開催されました。このコンサートは、12月にオープンする、チャレンジショップ「はままち倶楽部(仮)」をPRするために、中心市街地活性化協議会実行委員会(坂田篤彦委員長)が開きました。左耳に聴覚障がいを持ちながらも、その斬新かつ独創的な演奏で、海外での評価も高いチェロ奏者吉川よしひろ氏が奏でる、「海」や「茶摘み」などの懐かしい曲がホールを優しく包みましました。



## 第3回既婚者バレーボール大会

10月24日～26日 優勝 下名連石  
2位 中島南部  
3位 中島東部 御所



## 第7回職場対抗バレーボール大会

10月3日～7日 優勝 緑川森林組合  
2位 役場A  
3位 三栄A



## アジア・アフリカへ支援米を

10月24日、城平の田んぼで矢部小学校の5年生児童32人が稲刈りをしたのは、アジア・アフリカへの支援米でした。この事業は、上益城の水と緑、食を考える会が毎年行っているもので、矢部高校と共同で取り組んでいます。矢部小学校は、体験学習の一環として機械を使わない田植えや稲刈りなどで作業協力を行っています。

今年は、山都町から合計1200kgが支援米として送られる予定です。



## 第9回ソフトバレーボール大会

10月12日、13日 優勝 トリムA(39歳以下)  
優勝 チームTKN



トリムB(40歳以上)  
優勝 なかなか4人衆

